

## 行事報告

第22回大阪大学と上海交通大学共催学術交流セミナー  
「材料・接合ワークショップ」の報告

広域アジアものづくり 技術・人材高度化研究センター 特任助教 馬 運五

接合評価研究部門 接合構造化解析学分野 教授 麻 寧緒

2020年11月27日に第22回大阪大学－上海交通大学学術交流セミナーが、オンラインにて開催されました。本セミナーは、当時の溶接工学研究所が溶接分野を中心とした先方との国際共同研究を起源とし、1995年から始まった国際交流であり、現在は「材料・接合」「情報」「物理・レーザー」「船舶海洋」「スマートシティ」の5つの分野にまで発展して全学として取り組んでいます。

「材料・接合」分野のワークショップでの開会式において、田中所長より両大学の長期的な協力関係を振り返り、接合科学研究所ご出身で現在上海交通大学の Zhuguo

LI 教授に大阪大学 Alumni Fellow の賞状を授与しました。

今年度のワークショップには、上海交通大学から約16名の教員と学生、接合研から教員9名と学生2名が参加しました。両大学からそれぞれ7件のプレゼンテーションを行いました。接合研から劉准教授、馬特任助教、後期課程大学院生 Wu 君と Ammarueda 君が最新の研究成果を発表し、活発な質疑討論が行われました。

閉会式では、近藤教授が両分野の共同研究成果をまとめ、2021年度の学術交流セミナーへの期待を述べました。

